

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 31 日

事業所名 進学&就職支援あなたが宝モノ岸和田沼町教室



事業所による自己評価の令和2年度の結果を公表します。
自己評価結果や保護者等アンケート結果をもとに支援の資質向上に努めていきます。
これからも 運動&学習療育 あなたが宝モノ をどうぞよろしくお願いいたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	法令を遵守しています。お子様の成長やプログラムの変化に合わせて指導訓練室のスペースを変化させています。	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	法令を遵守しています。今後は法令の配置数に加えて、常勤換算で児童指導員等を1名以上配置するようしていく事で、より行き届いた対応をすることを心掛けて参ります。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	60%	40%	教室の立地がビルの2階になります。現状では、エレベーターの設置は難しいため、補助が必要な場合は、スタッフが対応いたします。療育室は、バリアフリー化に配慮しております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	主に、個別支援計画の作成にあたり、PDCAサイクルにのっとり、職員が参画しております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	今後も定期的にアンケート調査を実施し、よりよい評価を頂けるよう、業務改善につなげていくよう努めます。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	事業所向け並びに保護者様向け評価を実施し、結果による支援の質の評価及び改善の内容をHP、ブログ、SNS等で公開します。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	コンサルティング会社と提携し、常に利用者様にとって何が最善の療育となるかを考え業務内容の評価と改善策の提案を受けています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	新人研修はおよそ一か月の座学と実地訓練を含めた研修を行っています。また、その後も定期的に研修、模擬授業等を行い、資質向上に努めています。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	必要に応じてモニタリングを行い、支援計画の更新前にはアセスメントを行うことで、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	事業所でのルールやシステム化されたプログラムの中で、現状把握に努めています。アセスメントツールについては、導入しているものを今後必要性に応じて改善していきます。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	利用者様の支援計画に基づき、全スタッフでプログラム作成会議や模擬を行い、療育内容を共有した上で、日々の活動プログラムを立案しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	月ごとに設定したスケジュールに沿って、プログラムを実施しています。また、スタッフ間での情報共有をしながら、療育内容に細やかな変化を加えています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	土曜日や祝日、長期休暇では、午前と午後に分ける時間割設定を行い、長時間の三蜜を避けられるようにします。また、平日を含めてメインプログラムとサブプログラムの時間を取ることで、課題に向き合えるように工夫をしています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	聞き取った個々の状況・課題に合わせて、検討を行い、集団活動の中で、適切な療育が行えるよう放課後等デイサービス計画を作成しています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日の進行表を元に、プログラムの内容、それぞれの役割、来所する子ども達を確認し合っています。	
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	60%	40%	毎日必ずとはいきませんが、日々、お子様の様子や状況、療育の振り返りや気付きを療育日報を通して共有し、定期的な話し合いを持つことで、次回へ引き継がれる療育内容を認識し合っています。		
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	その日の療育内容や気付き、次回への引継ぎなどを日報に記録することを徹底し、より良い療育の提供に繋げています。		

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	個別支援計画に基づき、定期的にモニタリングを実施し、ニーズ・課題の見直しの必要性を日々の日報を通して判断しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの総則の基本活動を複数、柔軟に組み合わせた支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者もしくは教室長が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	主には、保護者様を通じての連絡調整となりますが、学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、お子様の下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)をご協力頂き、適切に行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	80%	20%	医療的ケアが必要なお子様のご利用に備えて医療機関と連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	今後は必要に応じて、出来る限り、就学前に利用されていた施設へ情報共有・相互理解できるよう働きかけていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	できる限り担当者会議を行い就労支援事業所など各関係機関との連携をとれるようにしています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80%	20%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関が企画・開催している研修に積極的に参加し、また訪問する事で連携をとっていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20%	80%	事業所内での療育の質を高めることを重点的に取り組んできたため、なかなか交流ができておりませんが、今後、障害のないお子様との交流の機会を作っていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	20%	(地域自立支援)協議会等の会議やイベントに参加できる機会があれば、積極的に参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎の際や電話、連絡帳、メール、LINEなど様々なツールを用いて日頃からお子様の状況を保護者と伝え合い、お子様の発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	80%	20%	相談のあった保護者様には積極的に行っています。また今年度はコロナ過の為実施できませんでしたが、外部講師を招いたセミナーを年企画し保護者様にご参加いただきご家庭での支援に役立ててもらっています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約前の療育説明会では、支援内容のご説明と日々のお子様の様子をヒアリングさせて頂き、ご納得いただいた上、体験に進んでいただいております。契約時には運営規程並びに利用者負担額について丁寧に説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者様から相談があった際には、随時、対応させていただいております。また、事業所での間取りの際に、事業所にて個別に困りごとに関するアドバイスをさせて頂いております。今後もより相談しやすい環境づくりに努めてまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%	今年度はコロナの為活動は出来ておりませんが、昨年度は6月に保護者会を開催し映画上映会並びに懇談会を行い、9月に保護者の為に講師を招いて市の教育委員会後援の講演会を開催致しました。今後はさらに保護者同士の連携を支援できるよう努めて参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情相談窓口を設けており、そのことは周知しております。相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月活動内容を載せた宝モノ通信を保護者様向けに発行しています。その他にLINE、HP、ブログ、Facebook等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者様に対して発信しています。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報は鍵付き書庫に保管しています。名前の載った資料の破棄はすべてシュレッダーで行っています。また職員に定期的に注意喚起しています。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	お子様には視覚情報を多用して意思疎通できるようにしています。保護者様との意思疎通ツールとしてLINEなどできるだけ視覚的に記憶・記録に残るツールの使用を心がけています。また、連絡帳を2月からはHUGの機能を使う事により、保護者様のスマホで確認頂けるようにさせて頂きました。保護者様との情報伝達と共に事業所内での情報共有の仕組みも整えて参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	80%	20%	継続して教育委員会の後援をいただき、「保護者のための子育てに関する講演会」を開催し100名あまりの地域の方々にご来場いただくイベントを開催しています。今年度はコロナ過の為、企画の段階で緊急事態宣言が発令され実現はしなかったが今後も企画をし、地域に貢献していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。新型コロナ感染に伴い保護者にもご理解とご協力をいただきました。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	地震・火災に備え月に1回を目安に、療育時間中や利用児が来る前に避難訓練を行いました。また職員によるシミュレーションも行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%	岸和田市が開催している虐待防止セミナー等に職員が参加し継続的に研修をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	80%	20%	現状、そのようなお子様はいませんが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、お子様や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載する仕組みを構築しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	入会時に事前調査票に記入していただいた情報と面談を元に食物アレルギーの有無を把握し、主治医の指示書がある場合はそれに基づいた対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハット事例集を作成して共有し、事故防止に努めています。